

**検索**  
**自衛隊宮崎地方協力本部**  
<https://www.mod.go.jp/pco/miyazaki/>






**Miyazaki**  
 Provincial Cooperation office



# 宮崎

宮崎地本だより

発刊元：自衛隊宮崎地方協力本部  
 編集：募集課広報班

お問い合わせ

宮崎県宮崎市東大淀2丁目1-39  
 TEL&FAX 0985-53-2643



自衛隊宮崎地方協力本部長  
 1等空佐 石原 信也



あけましておめでとうございます。読者の皆さまが、つつがなく新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年は新型コロナ禍のため窮屈な一年でした。ひとりひとりの感染予防対策等に加え、新型コロナワクチンの接種も進み、この数か月間、新型コロナ感染者数は著しく減少しており夜明けが見えてきた感があります。

皆さまにおかれましては、日頃より自衛隊宮崎地方協力本部が行っている多岐にわたる業務（①隊員の募集・②隊員の就職援護、③予備自衛官等の募集・管理、④自衛隊の広報、⑤自治体等との連携）に対して、ひとかたならぬご支援ご協力を賜り、深謝申し上げます。

さて、我が国周辺の安全保障環境を見ますと、中国は、人民解放軍を今世紀半ばまでに「世界一流の軍隊」とすることを目標に、透明性を欠いたまま、国防費を高い水準で増加させ、軍事力の質・量を急速に強化しています。特に、その海上・航空戦力は、我が国周辺海域において活動を拡大・活発化させ、力を背景とした現状変更の試みを執拗に継続しています。

北朝鮮は、わが国全域を射程に収める弾道ミサイルを保持するのみならず、依然として新型ミサイル等の開発を継続しており、我が国の安全に対する差し迫った脅威であるといえます。

一方、国内に目を転じますと、昨年も豪雨に伴う甚大な自然災害が発生しています。自衛隊は、地方自治体とよく連携し、予備自衛官等制度も活用して、人命救助捜索、道路啓開、物資輸送等の災害派遣活動を整齐と行いました。来るべき南海トラフ地震に対しても、自治体等とも連携を深め、備えていく必要があると考えています。加えて、新型コロナウイルス感染症への対応（自衛隊大規模接種センターの設置運営・医療従事者の自治体等への派遣・患者輸送等）、鳥インフルエンザ・豚コレラ（CSF）等に対する防疫措置等々・・・自衛隊の活動は多岐にわたっています。

このような国内外の厳しい状況を背景として、自衛隊に対する国民の期待は高まっていることを肌身で感じています。その期待に応えるべく、自衛隊は、あらゆる事態にも迅速かつ適切に対応し、日々訓練を重ね、精強化を図っています。特に、陸上自衛隊においては、平成5年以来約30年ぶりとなる陸上自衛隊演習を行い、陸上自衛隊の全部隊が参加し、その即応性や作戦運用の実効性向上を図り、我が国の抑止力・対処力の更なる強化を図っているところです。

宮崎地本は、宮崎県と自衛隊をつなぐ「かけ橋」として、主として人的な防衛基盤の拡充に努めています。しかしながら、宮崎県内においても少子化・高学歴化が進展しているところ、コロナ禍に伴う経済情勢・社会情勢の不透明さも相まって、自衛官の募集環境は厳しい状況です。今年度、宮崎県内高校卒業者の就職希望が過去最少と報じられているように、その厳しさはこれまでにないほどです。また、自衛官の定年延長措置に伴う一時的な就職希望者の増加への対応、即応予備自衛官等の数的・質的な確保にも苦慮しているところです。しかしながら、自衛隊のみで、その任をなし得るわけではありません。昭和45年、中曽根康弘防衛庁長官（当時）が防衛白書創刊にあたり『国の防衛には、何よりも国民の理解と積極的な支持、協力が不可欠である』と述べたように、皆さまのご理解・お力添えが必要です。

皆さまには、自衛官の募集・退職自衛官に対する就職援護・予備自衛官等制度を取り巻く環境の難境にご理解いただき、これまで以上のご支援ご協力を頂けると幸いです。

最後に、皆さまにとりまして、新しい年が穏やかで素晴らしい一年間となりますよう祈念し、新年の挨拶とさせていただきます。早くマスクを取りたい。



宮崎県防衛協会会長  
 宮崎県知事  
 河野 俊嗣

謹んで新年のお喜びを申し上げます。宮崎地方協力本部の皆様には、日頃から県政の推進及び防衛協会の運営につきまして温かい御支援、御協力を賜り、深く感謝申し上げます。

さて、コロナ禍が長期化する中、県民生活や地域経済は大きな打撃を受けております。このため、県としましては、県民生活の早期回復と地域経済の好循環を促す取組を力強く推し進めていくとともに、県民の生命や財産を守る防災・減災対策や、国土

強靱化の対応をより一層推進してまいります。

また、今後発生が危惧される南海トラフ地震や激甚化・頻発化する風水害をはじめ、様々な危機事象への対応力強化に取り組む中で、自衛隊との連携・協力関係の強化に努めてまいりますので、皆様方には、引き続き、県民の安全・安心の確保にお力添えをいただきますようお願いいたします。

本年が、皆様にとりまして希望に満ちた明るい年となりますよう、心からお祈り申し上げます、年頭の御挨拶といたします。



宮崎県隊友会  
 会長 三浦 秀明

新年明けましておめでとうございます。宮崎地方協力本部の皆様には、日頃から大変お世話になっており、感謝申し上げます。

昨年も、コロナ禍のため、主要な行事が中止や延期され、自衛隊の隊務運営にも多大な影響を与えたものと思います。また、コロナ災害派遣もあり、大変ご苦労様でした。

我が国周辺においては、依然として、中国の東シナ海や南シナ海での活発な海軍活動や西太平洋への進出、空軍機の我が国への接近など我が国を取り巻く安全保障上の脅威が懸念される所です。

一方、自衛隊は、引き続き多種多様な任務が付

与されるものと思います。

自衛隊の源は「人」であります。その基本となる人材を選び、入隊させている地方協力本部の役目は一層重要なものになって来ております。

隊友会も、引き続き「国民と自衛隊のかけ橋」として募集や援護協力に努めてまいり所存であります。

地方協力本部の皆様も厳しい募集環境やコロナ禍のなか大変ですが、本部長を核心として、ますます一致団結してご活躍されるとともに皆様のご健勝・ご多幸を祈念申し上げ、念頭の挨拶といたします。





宮崎県自衛隊家族会  
会長 柳田 晃

明けましておめでとうございます。  
 なかなか終息しないコロナ禍の中、昨年も募集・就職援護業務の激務に加え、自衛隊と県民間の豊かな結びつきに重要な役割を果たす広報活動にも力点を置いて当たられ、十分な成果を挙げられていることに対し感服致しております。  
 昨年は東京オリンピックが開催され、柔道等日の丸の掲揚に歓喜の渦が沸き上がりましたが、その陰にあって運営等に尽力した自衛隊関係者の存在も決して忘れてはならないと思います。大空に五輪マークを描いたブルーインパルスも秀でた操縦技能に併せ確実に高度の航空機整備等があったの事であり、トータルとしての成功を喜びたいと思います。コロナ感染防止に派出された医療関係者も然りであります。このような現場に機能する人的基盤の原点はどこにあるか・・・それはまさしく組織の礎石作りとして地方協力本部の地道で且つあきらめない隊員募集にある訳です。ハードルの高いこの目標達成に向け、自衛隊家族会を含め防衛関係諸団体は今後も更に連携を深め束になって支援する必要があります。本会はコロナの拡散防止の視点から、昨年度及び今年度の県総会を中止せざるを得ませんでした。この逆境を乗り越え活性化に向けた検討を継続しております。その際、貴地方協力本部のご指導・ご鞭撻をお願い申し上げます。  
 何よりも大事なものは心身の健康です。この1年、皆様が健康に留意され、充実した日々を過ごされますようご祈念申し上げ新年の挨拶と致します。



宮崎県自衛官  
募集相談員会  
会長 澤田 信吾

あけましておめでとうございます。  
 宮崎地本協力本部の皆様におかれましては、ご家族お揃いで希望と健やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。旧年中は多忙な業務のなか、私共、自衛官募集相談員会に対しご支援ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。  
 昨年度は、東京2020オリ・パラ支援団の任務完遂、自衛官アスリートの大活躍、新型コロナ感染拡大が長期化するなか、自衛隊は災害派遣や大規模接種センターを運営し、任務完遂しました。又、これから始まる宇宙・サイバー電磁波など新領域の能力強化を図る部隊も改編され、宮崎県出身者があらゆる所で活躍しています。これもひとえに地本の優秀な人材の自衛官募集、退職者の援護活動の賜ものです。私共も初心に帰り、一人でも多くの有能な対象者情報提供に更なる活動を進めて参りたいと思います。  
 新しい年が、地方協力本部の益々のご発展と、皆様方のご健勝をご祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。



自衛隊宮崎地方協力本部  
OB会会長  
大岐 継寛

あけましておめでとうございます。  
 自衛隊宮崎地方協力本部の皆様におかれましては、今年こそはコロナに打ち勝ち、希望に満ちた新年にしようと、新春の誓いを立てられた事と思います。  
 昨年は2年続きのコロナ禍で大変な年でしたが、我々OB会活動に、ご理解・ご協力を賜り厚く御礼を申し上げます。さて、日本周辺ではロシア・中国合同の大規模な海・空軍活動が活発に実施されています。尖閣諸島も相変わらず予断を許さない状況です。北朝鮮は、依然として各種ミサイルの発射を続け、着々と機能強化に努めています。又、台湾を巡る米中関係は緊迫の度を増しています。このような情勢を鑑み、政府は国家安全保障戦略（NSS）・防衛計画の大綱・中期防衛力整備計画を本年中に改定予定です。  
 協力本部は、少子化での募集、コロナ不況下での援護に積極的に活動されてます。厳しい状況ですが、健康に留意し、一層努力されることを切に願っています。我々OB会も会勢を充実させ、微力ではありますが一層の協力ができるよう努力致します。  
 寒さも厳しい折ですが、本部長を核心に一層のご活躍・ご発展・ご健康をお祈り申し上げます。

【西部方面総監感謝状伝達】



都城東高等学校玄関前

令和3年10月1日（金）に都城東高等学校で西部方面総監感謝状伝達式を行いました。伝達式では本部長が西部方面総監感謝状を伝達し、祝辞を述べました。これからも自衛隊宮崎地方協力本部にご協力をお願いします。

【最前任准曹交代行事】



本部玄関前（集合写真）

橋口准尉  
お疲れ様でした。  
  
横山准尉  
宜しく  
お願いします。

令和3年11月30日（火）宮崎地方協力本部において最前任准曹交代行事を実施しました。下番の橋口准尉は約3年10ヶ月上番し下番挨拶で充実した勤務ができたことに改めて皆様に感謝を述べられました。  
 次に上番する横山准尉の上番挨拶の中で要望事項が「双方向のコミュニケーションを大切にして常に相手のことを考えて行動をしてください。」と述べられました。



下番最前任 橋口准尉  
上番最前任 横山准尉

【呉総監感謝状贈呈】



海上自衛隊呉地方総監部

令和3年11月2日（火）に海上自衛隊呉地方総監部で挙行された自衛隊記念式典において、日向商工会議所の地域振興課・課長・河野悦子氏に対し防衛基盤の育成に貢献した功績により呉地方総監から感謝状を贈呈されました。



総務課



仕事と趣味の二刀流で頑張ります。

副本部長



今年も頑張ります！

援護課



課員「一致団結」して任務完遂に向け総力戦でいきます。

募集課



今年のテーマは『燦』



宮崎地方協力本部

えびの援護センター



「過去に「トラ」われず、積極的に「トラ」イしよう！」

延岡出張所



「地域と共に歩む」をモットーに頑張ります。お気軽にお立ち寄りください。



Provincial Cooperation office

Miyazaki

2022

HAPPY NEW YEAR

都城援護センター



援護最盛期を迎え今年も頑張ります！

高千穂連絡所



今年も全力で頑張ります！

小林地域事務所



何事にも『トラ』いして頑張ります！

日向地域事務所



『全速前進』全力で頑張ります!!



サンメッセ日南

都城地域事務所



『チェスト』

新田原分駐所



本年も、よろしくお願ひします。

宮崎募集案内所



事務所一丸頑張る！

日南地域事務所



『一新紀元』



### 【ウィークエンド新田原】航空自衛隊新田原基地



令和3年12月4日(土)及び5日(日)、航空自衛隊新田原基地において、ウィークエンド新田原が実施されました。両日共に晴天にも恵まれ、2日間で延べ6339名の来場者が訪れ、会場ではブルーインパルの曲技飛行などが披露され、一糸乱れぬ素晴らしい飛行を観た観客からは大きな歓声があがっていました。

宮崎地本は、F-15戦闘機などの地上展示との共同により広報ブースを開設し、第43普通科連隊及び海上自衛隊佐世保地方総監部の支援を頂き、軽装甲機動車等の展示、制服試着・記念撮影コーナー、募集・援護相談コーナー、自衛隊映像VR体験コーナー及びガチャガチャ等のグッズコーナーを展開し、沢山のご家族連れなどで賑わいをみせました。新田原基地司令を始め沢山のご協力を頂きありがとうございました。

### 【防衛大学1次試験】南九州大学・第1生命ビル・日本生命ビル



宮崎地方協力本部は、11月6日(土)7日(日)県内3会場において、防衛大学校(一般)1次試験を実施しました。

今年度も防衛大学校学生の帰郷広報や防衛大学校主催のオンライン説明会等を通じて防衛大学校の魅力を広報してきましたが、コロナ禍による試験会場の制限等から志願者は減少しました。

募集期間中は、出張所長等以下広報官が学校の進路指導を通じて学生に対し、説明会を実施して多くの受験者獲得に努めてくれました。

また、試験に際しては、宮崎地本職員が総出で、受験者の案内、誘導、試験の実施等を整齊と実施し、受験者が気持ち良く試験に集中できるように努めました。試験に携わった皆様に深く感謝するとともに、この場を借りて御礼申し上げます。試験に臨んだ学生は、進路に悩む学生が多く存在することから、1次試験以降のつながりが重要となります。引き続き、防衛大学校(幹部自衛官)の魅力を説明し、多くの人材を輩出できるよう精進していく所存であります。

### 【防災のつどい】青島青少年自然の家



令和3年10月31日(日)に青島青少年自然の家において、宮崎県が行う令和3年度「防災のつどい」が実施されました。このイベントに第43普通科連隊第2中隊の支援を受けイベントに参加しました。自衛隊装備品展示・高機動車乗車体験などで実際に使用している装備等の説明を行いました。宮崎地本は災害派遣・活動状況などの写真パネルやパンフレット配布等のブースを開設し、訪れた来場者に説明をしました。

その他、消防車・救急車や地震を体感できる起震車に来場者が体験していました。トヨタ自動車は被災した時、車中泊できる装備の車を展示・説明をしていました。ドローンを使用し被災者の捜索体験や非常食、応急トイレなどを扱う企業が参加し災害時の行動、避難場所の確認、非常食の準備など改めて認識をしていました。

### 【退官者紹介】



**自衛隊勤務  
お疲れ様でした。**

募集課広報班  
3等陸尉 川端 公洋  
令和3年10月13日付

### 【新規採用者紹介】



**ようこそ  
宮崎地本へ!!!**

総務課  
事務官 原田 苑子  
令和3年11月1日付

### 【転出者紹介】



**お疲れ様でした。**

日南地域事務所 広報官  
海曹長 川越 聡  
総務課 管理班  
2等海曹 米花 進一  
令和3年11月10日付

### 【永年勤続表彰紹介】



**おめでとうございます。**

都城地域事務所 新田原分駐所  
所長 1等陸尉 丸尾 秀樹 所長 1等空尉 清水 幸郎  
延岡出張所 小林地域事務所  
広報官 1等陸曹 高地 進也 広報官 2等陸曹 日高 早苗  
総務課 募集課  
総務係 2等陸曹 福永 雄史 広報班長 事務官 黒木 裕一